傳家四合原氏

廿六

特別
へ13
4274
26

91-2357

田舍源氏 上冊

第九六編

柳亭種彦作
歌川國貞画

通油町
仙鶴堂壽梓

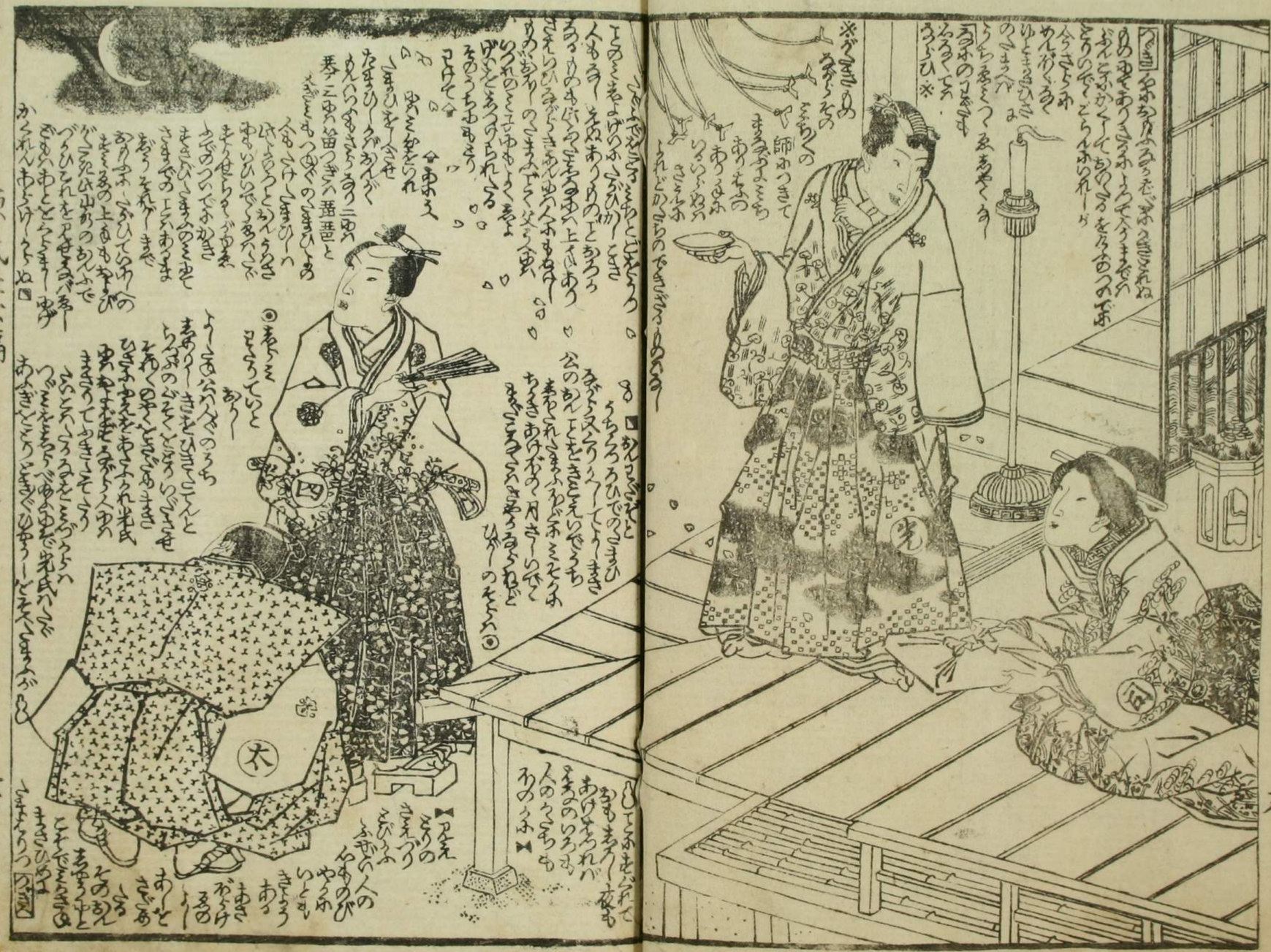
小紙紙を袴ゐ仕立仙基平と羽織よもる。古我の記録で說法ハ
ゆざとび祖師一代記で軍書繪ハ入きさる。三階から五カ月五中二階
かと勤平と勧る類人奇と好めで造化も又それゐひれて已が名我
忘れて咲や黄鶯頸河骨の関よ生。菊の水よ冠さ〜を不思議と
いひ〜ハ昔ゆく。今ハ牡丹よ絵雲が時雨れ浅ゐ揺を又る。春と秋との
取久ぐゐ。糸髪奴の享氣者。文金ゐ田の陰子の振袖最長く〜
繪草紙よ源氏と繪ゐ後溜殘本を和文よ直〜表裏ゐれど。彼絵の
袴の類ゆく裾の筋も佶通らぎ。去年今年と古ゆく程。〜〜〜〜ゐ自も
倦ぐ。ちと強と書くカ名と又平酒の羽織ゆて和ゆ〜ぶゆもなり。畢竟が蛙より
力ちき見ぐ歌流の寸ゆ仙を〜〜のぐゐ咲ゐれど。春の絵屋ゐるゐゐ乱〜〜ハ
音を止がゐ。時雨ゐる須揺ゐゐ彫めて孤をひろうも

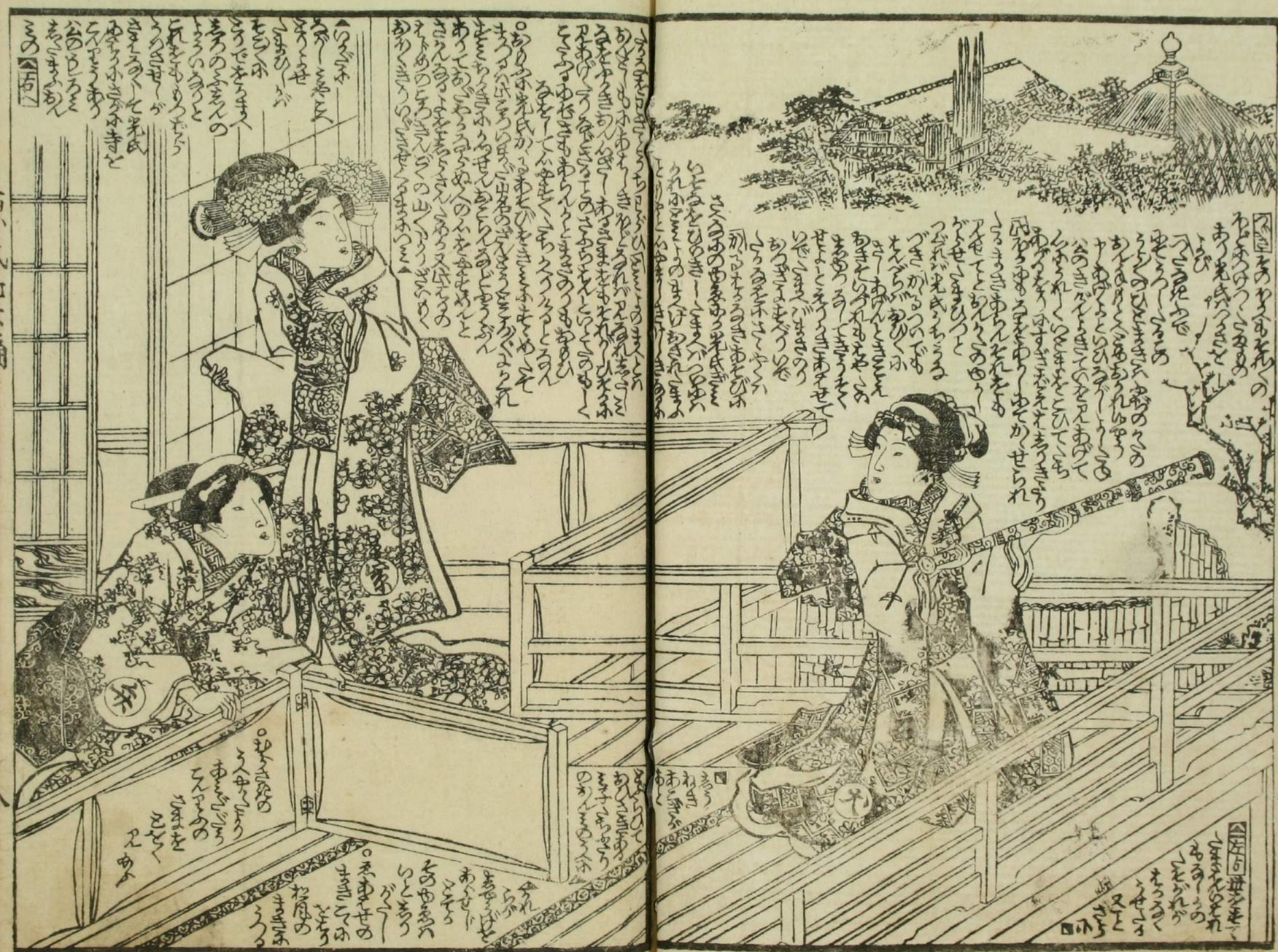
天保九年戊戌孟春

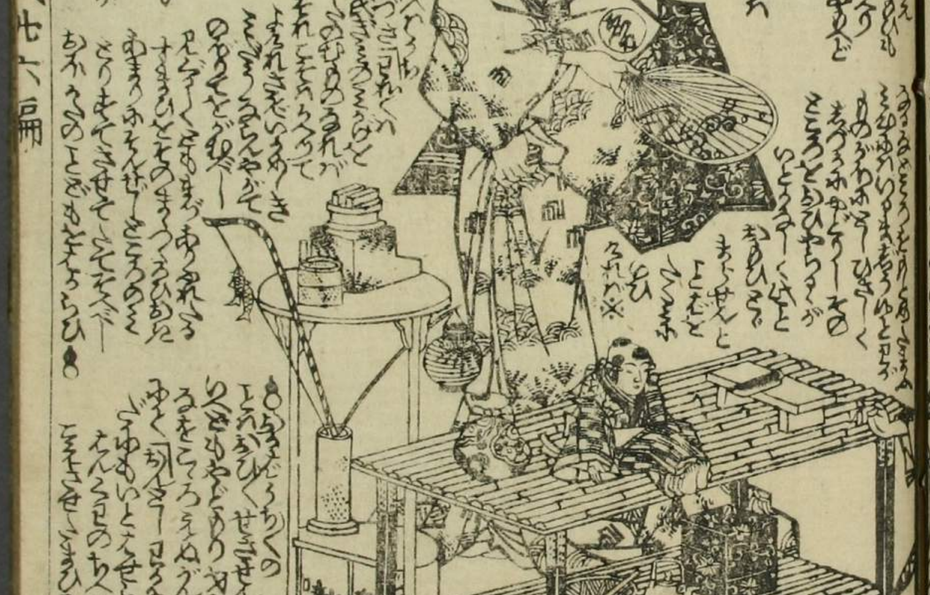
柳亭種彦

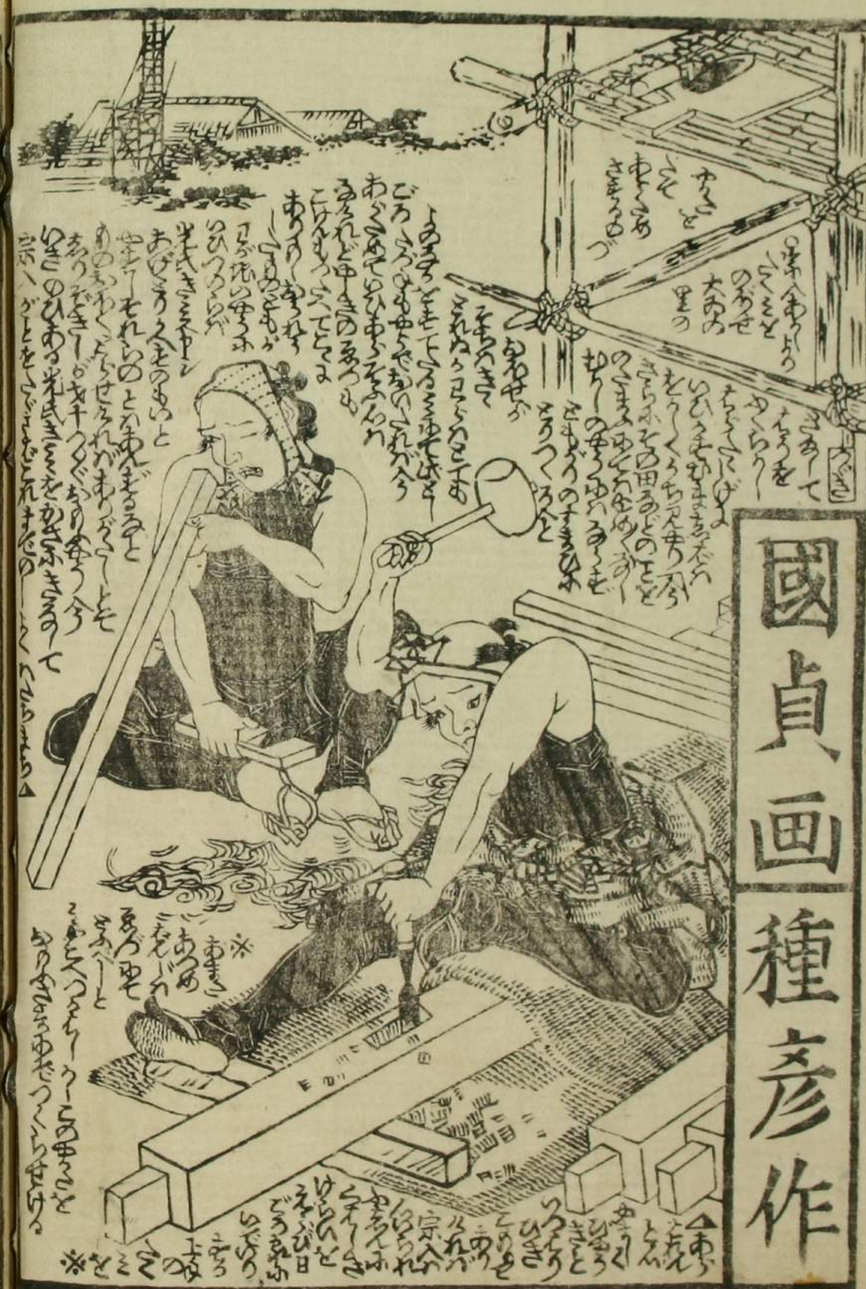
源氏十六編
宗入洛西大井の里に別館を
いとみむ所名の住家に
似つそく画せしころ
物ごろの風よ氣の
あもまろうて
年ごろ
へる海
つゝめ
あぶそ
それば
外を
久る
ち
ず
と
あれば
ろう

富士の前









國貞画種彦作

東都茅本屋亀吉版撰

俳諧芳野集 全二冊 岡板 遠刻

俳諧叢蕾集 全二冊 遠刻

俳諧全四歌仙 全一冊 岡 横宝 毛本 板 岡田の屋外堂

東都茅本屋亀吉版撰

俳諧 今人俳合集 全四冊 人〻の俳合凡百余人の俳諧 岡板

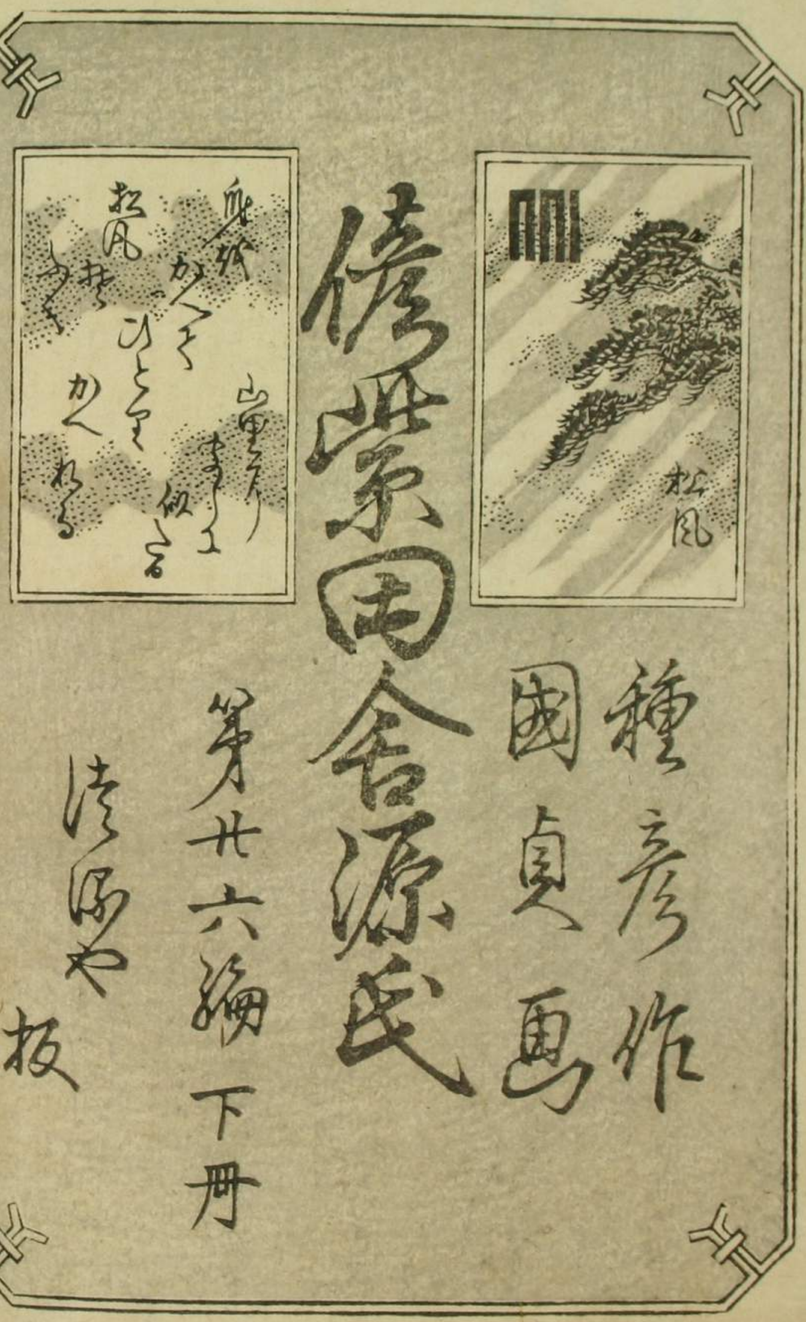
俳諧 図撰 今人叢白集 全二冊 未百年早春出板

書肆

江戸通油町

仙鶴堂 鶴屋喜右衛門蔵

光六編下


松風
倩紫田舍源氏
種彦作
國貞画
第廿六編 下冊
清島屋
板

三
源氏七六編

天保九年戊戌初春新彫

偐紫田舎源氏

柳亭種彦作
歌川國貞画

当年九五編より三十編まで両板おかそうぢ絵草紙

佐野渡死敵懸橋　全六冊　五雲亭貞秀画

櫻風呂花手習　白雲洞主人作　全四冊　五雲亭貞秀画

復讐國学茶話文庫　丹頂草鶴丸作　全四冊　五雲亭貞秀画

ゆかりの藤浪　柳亭徳升作　全八冊　歌川貞秀画

金花貓婆化生舗　大海舎金龍作　全六冊　五雲亭貞秀画

茶なのいろは　昔咲大樓だるア作　二冊

昔咲きちんちん　三冊

昔咲浦島　三冊

小絵ざうし　師匠百歳人　種彦作書　貞秀画図

四十八銅　三百西横町　坂本氏製

美艶仙女香
黒油美人香

書物錦繪
團扇地紙
問屋　江戸通油町
鶴屋喜右衛門